



第 1424 回例会報告

平成27年8月20日(木)晴

会長挨拶

会長 御子柴文夫

若き心を持って 人生を生き続けましょう

岩村会員が3分間スピーチにてお話しされた「聖路加国際病院名誉院長日野原重明様が100歳を越えて社会貢献活動に努められておられるから 私も頑張ってロータリー活動に努める。」とのお話に感銘を受けました。

日野原名誉院長は本年の全国学校音楽コンクール小学生の部の課題曲「地球をつつむ歌声」の作詞をされました。音楽家であり医師で医学博士でもある1911年(明治44年)10月4日生まれ今年104歳を迎えられる方です。今でもエレベーターをできるだけ利用せず階段を利用されておられるそうです。1941年(昭和16年)30歳のとき聖路加国際病院に内科医として赴任され現在に至っております。

第二次世界大戦は1939年9月1日ドイツ軍のポーランド侵攻により始まっており、日本は1941年12月8日の海軍によるハワイ真珠湾攻撃と陸軍によるマレーシア侵攻により参戦した年です。

下諏訪ガールスカウトの創設に務めた私の伯母は聖路加国際病院に奉職しており、イギリス大使の家族付き看護婦として英国に赴任しておりま

したが戦争開戦により聖路加国際病院に戻ってきた時期でしたので少々の親交が合った時期となります。従って、岩村会員のお話に感銘とともに100歳まで生き抜いた伯母を思い出し私も頑張る勇気を得ることが出来ました。

人は生まれた後は日々老いていきます。肉体は20代までは若いながらも日々成長し、その後は体力が衰退して行くのは避けようのない事実です。そこで肉体の老いではなく心の老いは如何かとの話しとなります。

皆さんがご承知のこととは思いますが「作者サミエル・ウルマンの詩 Youth」が世に知られております。Youth はいろんな翻訳者に青春と訳されております。

占領軍のマッカーサー元帥が執務室に掲げていた座右の詩として「サミエル・ウルマンの詩 Youth」が1945年(昭和20年)12月発行のリーダーズダイジェスト英語版で紹介されました。当時は戦争で負けて希望を失っている日本人にとって「サミエル・ウルマンの詩 Youth」により勇気づけられ、この詩を友人・知人に伝えて広がったようです。

翻訳は当時の日本フェルト工業統制組合専務理事岡田義夫様がなされたものが有名で、岡田様は1968年(昭和43年)にご逝去されておりますが、戦後の経済界に「青春の会」が設立され朗読する会合がもたれておりました。現在の活動は定かではありませんが額装された翻訳文は入手

出席報告

会員数	40名
出席対象	38名
出席者数	31名
出席率	81.6%
前回修正	92.1%

■ニコニコBOX

2名	20,000円
累計	90,000円
目標額	60万円
達成率	15.0%

■今週のことば

5人目の孫が生まれました。初の男の子でした。

平山隆勇

8月6日の納涼例会は会員皆様のご協力により大変盛大に終えることができました。ありがとうございます。

小口直久



出来ます。

尚、蛇足ですが八十二銀行湯本頭取は原文を花文字で書き写して持たれておられます。

長野オリンピックのイメージ監督をなされた1946年生まれ新井満様も翻訳なされております。

英語を翻訳すると人により内容が変わってしまいます。岡田様新井様の翻訳文と原文を私なりに校正して「Youth」をご紹介します。

青春

青春とは人生の或る期間の肉体の若さを言うのではなく、若き心の持ち様を言う。

薔薇色のほほ 真っ赤な唇 しなやかな身体、これらの若さからくる風体は重要ではない。

強い精神 豊かな想像力 燃え上がる情熱が 有るか無いか重要で。

年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。

歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に心はしぼむ。

歳を重ねただけでは人は老いない。夢を失ったときに初めて老いる。

臆病な心の中に青春はない。情熱により発揮される勇氣と冒険心の中に青春はある。

人は信念と共に若く、疑惑と共に老いる。

人は自信と共に若く、恐怖と共に老いる。

希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる。

勇氣と希望と微笑みを忘れず若き心と共に生き続ける限り何歳になろうとも青春は心の中にある。

皆さん。若き心を持って人生を生き続けましょう。

**2016-2017 諏訪グループ
ガバナー補佐に大澤会員を推薦**

先日来、選考委員会で検討してまいりました、2016-2017諏訪グループ・ガバナー補佐に大澤邦彦会員をご推薦申し上げ、大澤会員より受諾をいただきました。



大変な役をお受けいただき感謝申し上げますとともに、クラブ全員で協力していきましょう



本日の3分間スピーチ

本日のスピーチは林洋三会員でした。

初めて3分スピーチをした青年会議所時代の思い出に始まり「諏訪のウナギ」の話をしていただきました。



第1424回例会

2014-2015 会計報告

担当 会長、幹事、会計

本日は2014-2015年度の会計報告が小松孝弘会計より、詳細な会計報告が行われ全員一致で承認されました。

小松会計ご苦労様でした。



第30期決算書

自 平成26年7月1日
至 平成27年6月30日

本会計収入の部			本会計支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
会費	8,640,000	9,100,000	24万×37,22万×1	1,343,290	1,560,079
入会金	20,000	20,000	祝分振金	262,550	346,939
ビジター会費	20,000	8,000	個人頭分振金	175,030	231,455
雑収入	2,000	152,859	ロータリー副刊書付	84,150	108,000
ニコニコBOXより繰入	600,000	325,072	基金合計へ30万	3,370	4,484
前期繰越金	1,000,000	1,961,782	基金合計へ30万	231,240	285,140
合計	10,282,000	11,587,713			

特別会計決算			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	3,529,181	30周年会計繰入	2,800,000
本会計繰入	531,377		
ニコニコBOX繰入	300,000		
期中利息	345	次期繰越金	1,580,903
合計	4,360,903	合計	4,380,903

諏訪湖ロータリークラブ基金			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	8,750,160		
今期繰上げ			
期中利息	1,744	次期繰越金	8,751,904
合計	8,751,904	合計	8,751,904

諏訪湖浄化基金			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	0	本会計繰入	325,072
今期繰上げ	625,000	基金繰り入れ	300,000
期中利息	72		
合計	625,072	合計	625,072

ニコニコボックス			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	0	本会計繰入	325,072
今期繰上げ	625,000	基金繰り入れ	300,000
期中利息	72		
合計	625,072	合計	625,072

第30期決算書 (続)					
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
1 分組金	1,343,290	1,560,079	2 事業費	2,620,000	2,260,498
祝分振金	262,550	346,939	クラブ奉仕委員会	1,020,000	923,136
個人頭分振金	175,030	231,455	出庫・ニコニコボックス関係	100,000	107,914
ロータリー副刊書付	84,150	108,000	親睦活動関係	660,000	532,024
規定審議会負担金	3,370	4,484	3クラブ合同例会	120,000	163,168
全国関係	231,240	285,140	大津中央IC交流会	100,000	100,000
ガバナー会連費協力金	6,600	7,400	プロジェクト関係	40,000	20,000
ロータリー大津事務所協力金	9,900	11,100	職業奉仕委員会	130,000	94,954
米山奨学会寄付金	99,000	114,640	職業奉仕関係	110,000	94,954
ロータリーの友購読料	105,840	116,640	ロータリー情報関係	20,000	
金沢平和フォーラム負担金	9,900	36,000	会員増強推進分組関係		
地区関係	816,500	892,000	社会奉仕委員会	350,000	313,808
地区資金	676,500	740,000	社会奉仕関係	150,000	180,808
ガバナー月信	140,000	152,000	諏訪湖浄化関係	200,000	133,000
グループ関係	33,000	36,000	国際奉仕関係	480,000	380,000
ガバナー補佐負担金	33,000	36,000	国際奉仕	480,000	380,000
			新世代活動委員会	310,000	288,600
			インターアクト・ロータリー・アクト	100,000	99,000
			ガールスカウト助成金	100,000	100,000
			青年奉仕の交際・交際料・謝礼	110,000	89,600
			SAA	10,000	
			クラブ会報・雑誌読者委員会	320,000	260,000
			3 運営費	4,920,000	4,787,752
			事務局費	500,000	133,616
			総務費	1,300,000	1,333,548
			交際費	50,000	30,000
			庶務交通費	50,000	3,360
			事務消耗品費	20,000	100,184
			備品費	30,000	48,000
			雑費	30,000	35,100
			登録料	600,000	523,000
			例会費	2,340,000	2,560,944
			4 繰越金	1,098,710	2,879,384
			5 基金積立	300,000	100,000
			合計	10,282,000	11,587,713

会員セミナー

担当 蒲地整志職業奉仕委員長



本日は、2015年4月5日(日)松本大学で行われた地区研修・協議会に於いて望月宗敬ガバナーエレクト(当時)の講演の内容を御紹介したいと思います。要旨は次の通りです。

1. 職業奉仕はロータリーの根幹
 - ・決議23-34の重要性
 - ・アイサーブ→自己研修→職業奉仕→職業倫理の向上→自己の向上→倫理観の向上
2. ロータリークラブは機能体であれ！！
 - 共同体→仲良しクラブ
 - 機能体→株式会社
 - バランスがとれていないクラブが多い
3. RI会長テーマ「世界へのプレゼントになろう」の説明
4. 「思い起こそうロータリーの心と原点」(温故知新)
5. CLPには副作用がある。

第34回諏訪湖クリーン祭りに参加しました

8月9日(日)午前6時45分より9時過ぎまで、夏らしい晴天の中、湖浄連主催の第34回諏訪湖クリーン祭りに会員と家族を含め24名と2匹にて、参加してきました。

35年前大澤会員が初代会長のもと湖浄連が発足し、次の年の8月からこのクリーン祭りが始まりました。青木下諏訪町長が湖浄連会長の年と昨年、台風により中止となった以外は、良い天候の中ここまで受け継がれ、続いています。

本年の河西湖浄連会長のあいさつにもありま



司会は湖浄連クリーン祭り部会長として宮坂英貴会員が担当

したように、「水質も環境も良くなっている」と言っ

て、手を止めてしまえば悪い状態に戻ってしまうでしょう。続けてこそ山地水明の諏訪湖になるのです。

海老原会員、提供の野菜や花の苗をいただき、楽しく次世代につなげることを話しながら有意義な時間を過ごせました(萩田社会奉仕委員長)



県に水質測定器具一式を寄付し知事より感謝状をいただきました

新聞報道にもありました通り、去る8月21日(金)県庁を、御子柴会長、西澤幹事、吉澤直前会長、海老原前幹事の4名が訪問し180万円相当の水質測定器具の寄付目録を知事にお渡しし、感謝状をいただきました。

このことに関しては改めて特別号を発行させていただきます。

